

1. 報告書提出日

2024年12月23日第2回報告

2. 基本情報

氏名：小林萌子

派遣クラブ・カウンセラー：福山南ロータリークラブ・後藤昇三さま

受入クラブ・カウンセラー：Bristol Breakfast Rotary Club・Ms. Mary Whittington

教育機関 専攻分野：Social Policy

3. 学業面での成果

イギリスに来て3か月が経ち、毎日、研究を進める日々です。先日は、指導教官の勧めで、国立図書館が運営するオーラルヒストリーのトレーニングに参加してきました。ロンドンを中心に時折イギリス各地で開かれている講座なのですが、たまたま都合よく、現在暮らしているブリストルで開かれるとあったので申し込みました。申し込み時には、簡単に自分の研究内容を書く欄があったので、私が研究しているオーストラリアで行われたイギリス核実験について書くと、それを読んだ講座を取り仕切る方から連絡があり、政府出資で行われているイギリス核実験参加兵士達のオーラルヒストリープロジェクトのリーダーで、サウスウェールズ大学のヒル先生に繋いでいただけるとのこと。早速、ヒル先生とやりとりすることになり、これまでに2回、核問題の歴史を教えるヒル先生の授業に参加させていただきました。

また、ヒル先生の授業に参加したご縁で、核実験に参加したイギリス軍兵士たちのグループ、LABRATS International の設立者、オーウェンさんと会うことができました。イギリス政府は、核実験開始から70年経った2022年に初めて公式に兵士たちの核実験参加による奉仕を認め、メダルを授与することを決定したのですが、その政治的決断をもたらしたのは、LABRATS のロビー活動で、LABRATS は私の研究内容に大きく関わるグループです。オーウェンさんと会った1週間後の12月半ばには、LABRATS のクリスマス会がウェールズにて予定されており、オーウェンさんが、クリスマス会来る？と言ってくださったので、即決で参加することに決めました。二泊三日で開かれたクリスマス会では、多くの核実験参加兵士たちやその家族と知り合うことができ、これからの研究の指針を考えるととてもいい機会になりました。LABRATS の関係者たちとこんなに早く知り合いになれるとは思ってもみなかったもので、このご縁に深く感謝し、これからも積極的に人脈を広げていきたいなと思っていますところでは。

4. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

ロータリーのみなさんにも相変わらずとてもよくしていただき、先日も、朝食会に参加させていただきました。(私をお世話してくださっているロータリークラブは、毎週開かれる例会が朝ごはん時です。)まだまだ真っ暗な朝7時からロータリーメンバーそろって元気よく朝ごはんを食べ、講話を聞き、とてもいい1日のスタートを切ることができました。みなさん気さくな方でとてもフレンドリーなので、大学以外の場でこうしたつながりがもてることにありがたく思っています。

5. 直面した課題、問題点等

特にありません。

6. 今後の課題、目標

イギリスは、緯度が高いこともあり、冬の日照時間は短く天気も薄暗い日が多いのですが、人とのつながりで温まりながらこの冬を過ごしていこうと思います。みなさまも、どうぞよい年越しをお過ごしください！

7. その他特記事項

いつもご丁寧なご対応、本当にありがとうございます。



ウェールズのレストランでのクリスマスランチメニュー これにデザートなのですが、ちょっと量が。。。まわりで食べてた人も完食している人はいませんでした。。。



こぢんまりしていますが、クリスマスマーケットが11月から12月にかけて開かれていました。